

複数拠点で稼働する 複合機の一元管理により、 総務部門の手間を軽減し 社内改革を実現。



全国に支店や営業所を展開している企業など

拠点を開設するたびに

個別に情報機器を導入してきた結果、

契約形態がバラバラで管理が煩雑となっていたり

必要以上にコストがかかっている場合があります。

今回ご紹介するのも、まさにそうしたケースの一つ。

全国の複合機の一元管理を行うことで

管理面、コスト面ともに大きなメリットが生まれました。

また、カーボン・オフセットクレジット移転のしくみにより、
環境対応の面でもメリットを感じていただけた一例として
是非ご紹介したい事例です。

導入背景

それまで特に不満は感じていなかったが 提案を受けて入れ替えのメリットを実感

少子化の進行による生徒数の減少、教育熱の高まりを背景にした優秀な生徒の獲得競争の過熱など、学習塾業界における競争は激しさを増し、学習塾各社では業務効率化やコスト削減といった経営基盤の強化が必須となっています。今回紹介する事例は、多数の拠点で使用している複合機をはじめとした機器の運用・管理を効率化することで社内改革を実現した事例です。東証一部上場の大手学習塾グループとして、フランチャイズも含め、全国に260以上の校舎を展開する秀英予備校。同校では、各教室に複合機やファクス、プリンターを導入していました。「他社からも何度か入れ替えの提案を受けたこともあるのですが、当時使用していた複合機に特に不満はなかったですし、運用も比較的うまくいっていたので、その必要性を感じたことはありませんでした。運用保守に関わるコストがちょっと高い気はしていたものの、一方で妥当なのかなという想いもあり、全国一斉に入れ替える作業負荷を考えるとそれ以上の検討にはならなかったのです」と語るのは、人事総務部の住田室長です。「業務効率とコスト削減はいろいろ取り組んできましたが、やりつくしたといった状況でした。キャノンS&Sから運用保守一元管理の提案を受けたのはまさにそんな時。教室を新設するたびに機器を導入していたため保守契約はもちろん消耗品の管理などはどうしてもバラバラになってしまいます。人事総務部の立場としては、まとめることができればいいなと考えたことはありましたが、到底できるとは思わなかったですし、仮にトライしてもまさか提案通りの効果が出るとは思いませんでした」。

(左から)
人事総務部長 中川浩さん、
渡辺 武社長、
人事総務部室長 住田あゆみさん



株式会社秀英予備校様

www.shuei-yobiko.co.jp

静岡を本部に、北海道・旭川から沖縄まで、日本全国で「小・中・高一貫教育」の学習塾を運営しています。2002年には、業界に先駆けて東証一部上場を果たしています。

- 本社 : 静岡県静岡市葵区鷹匠2丁目7-1
- 創立 : 1977年
- 社員数 : 744名(連結)
- 事業内容 : 学習塾、予備校運営



選定理由

一元管理による手間やコストの軽減に加え 全教室の調査を一社で対応したことも信頼に

詳しい選定理由について、人事総務部の中川部長が語ります。「決め手の一つは、全教室をカバーするネットワークでした。何百台を一気に変えるということで、最初は当然ハードルが高い話だなと思っていましたが、キヤノンS&Sは私たちへの提案のために全教室をくまなく回り、現状調査のためのヒアリングを行ってくれました。そこまで踏み込んでくれた行動力を目の当たりにし、ここなら任せられるという頼もしさを感じました。キヤノンS&Sからの提案は、機器の運用管理をすべて一つの窓口で面倒を見ることで、煩雑だった人事総務部の手間を大幅に軽減することが可能というものでした。さらに、教室によっては複合機を単にコピー機としてのみ使用し、別途プリンターやファクスを導入しているところも多かったのですが、それを複合機でまとめてプリントする環境を整えることで大幅な出力コスト削減につながり、消耗品などの在庫管理も楽になるとのこと。また機種の特長としては、いったん複合機上にデータを溜め、後から本

に必要なものだけを選んで出力できる溜め置きプリントができるので、プリントの無駄や放置が無くなり、情報漏えい対策にもなるとの話でした。もともと入れ替えるつもりは全くなかったものの、さすがにここまでの効果が出るのなら、断る理由はないのではないだろうか。私たちの気持ちも、もはや入れ替えということで固まってきたのです」。



導入効果

コストと無駄プリントの削減に加え 環境対応企業としてのアピールも可能に

「リースの解約金を含め、初期コストは現状レベルに抑えつつ導入をスタート。溜め置きプリントにより、無駄なプリントを約10%削減することができました。そして、保守や運用に関わる部分もトータルで大幅なコスト削減を実現。従来は静岡の本社で集中印刷して全国に配送していた教材をそれぞれの教室で印刷してもらうことが可能となり、生徒一人ひとりの課題に応じて教材を提供するといったきめ細かい対応や配送料の削減にもつながりました」と語る住田室長。

そして、今回の導入においてもう一つ環境面でのメリットも大きな目玉となりました。地球温暖化対策推進法(温対法)の特定排出事業者(特定排出者)に該当する秀英予備校は、CO₂排出量の報告とそれに応じた削減努力が求められています。今回導入された複合機は、キヤノンが実施した製品ライフサイクル全体で排出するCO₂のうち、「使用分」についてのオフセットクレジットの移転を受けることができるため、環境対応企業としてアピールできるという点でも大きなメリットでした。「今回の複合機導入によって約160t分のオフセットクレジットを当校に移転していただきました。カーボン・オフセットという言葉は聞いたことがありましたが、実際にどのようなしくみであるかは知りませんでした。今回、それを詳しく知るきっかけになりましたし、企業として活動実績に残せるので非常によかったと思っています」と中川さんは話します。



今後の展望

今後も教室数の増加が見込まれる中 引き続き全国規模での対応に期待

全国一括での複合機入れ替えにより、管理面とコスト面でメリットが生まれ、さらに環境対応企業としてもアピール要素を得た秀英予備校。最後にこの先の展望について、お二方に伺いました。「予備校という業種柄、環境対策としてできることは用紙代や使用電力の削減くらいしか思い浮かばなかったのですが、カーボン・オフセットについての知識を得ることができたので、今後の取り組みに向けて新しい視点をいただけたと思っています」と住田室長。続けて、人事総務部の中川部長が「この先も教室の数はどんどん増やしていく予定ですし、その点一つの窓口でワンストップで対応していただけるのは非常に助かります。私たちにとってメリットのあることなら、今後もどんどん新たな提案をしていただきたいと思いますし、サポートも含め、引き続き全国規模で手厚いご対応を期待しています」と



締めてくれました。経営基盤を強化し、これまで以上の勢いで学習塾業界を牽引する秀英予備校の今後が楽しみです。

(左から)中部営業本部 静岡営業部
部長 田中慎二、課長 阿南元康、
課長代理 大塚洋和

キヤノンS&Sがご提供する

全国に展開する拠点ネットワーク

高品質かつ均一なサービスとサポートを、
日本全国で提供します。

約180拠点



キヤノンS&Sがご提供する

カーボン・オフセット認証取得製品

●今回ご紹介する秀英予備校様のように、年間のエネルギー使用量が一定量を超え、地球温暖化対策推進法の「特定排出者」に該当する事業者は、同法が定める「定期報告書」提出の義務を負っています。

●キヤノンの複合機は、原材料の加工から使用、最終的なリサイクルに至るまでのライフサイクル全体でカーボン・オフセット[※]を実施。このうちお客さまが「使用」することで発生する分を、お客さまに移転することが認められています。

※カーボン・オフセットとは
自らが削減できないCO₂排出量を他社が創出した排出削減・吸収量で埋め合わせ(オフセット)することで、社会全体のCO₂排出削減を促進するしくみ

●上記の移転により、キヤノンの複合機を導入した事業者は、定期報告書に自社のCO₂削減量として記載することが可能です。

